

〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 338 (通算 669 回)

2016 年 12 月 22 日 (木)

教学マネジメントの自己点検評価——

学修アセスメントポリシーの構築と展開

高等教育活性化シリーズ 339 (通算 670 回)

2017 年 1 月 16 日 (月)

学位プログラムの設計と評価——

学問分野別学修成果についての共通理解形成

教学マネジメントの自己点検評価——

学修アセスメントポリシーの構築と展開

～ 3 ポリシーの PDCA / 学修成果の可視化 / 成績判定 / 内部質保証～

- ※ 全学・学位プログラムのアセスメントポリシーの構築 / 関西国際大のアセスメント P の作成と実際
- ※ 学修成果アセスメントからのカリキュラム設計 / AHELO からの学び / テスト問題バンクの取組み
- ※ [山梨県立大] 教学 G の日米比較 / 内部質保証の深化 / 学修成果の可視化 / 学士力の評価・測定
- ※ [お茶の水大] 学修ポートフォリオ / プロセス & アウトカムズ評価 / 成績評価・判定の質保証

● 講師陣 ●

清水 一彦氏 / (公) 山梨県立大学 理事長・学長
濱名 篤氏 / (学) 濱名学院 理事長 関西国際大学 学長
深堀 聰子氏 / 国立教育政策研究所 高等教育研究部長
チューニング情報拠点 代表
半田 智久氏 / (国) お茶の水女子大学 教育開発センター 教授

2016 年 12 月 22 日 (木) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

学位プログラムの設計と評価——

学問分野別学修成果についての共通理解形成

～チューニングとアセスメントによるエキスパート・ジャッジメントの涵養～

- ※ [工学] フィービリティ・スタディ / コンピテンス枠組み / テスト問題バンクのインパクト
- ※ [看護] 看護学教育の質保証の取組 / 学部生の卒業時到達目標の差違目標 / 今後の展開
- ※ [哲学] 哲学教育における学修成果とは / 卒業生・雇用主へのインタビューにみる評価
- ※ チューニングによる学位プログラム設計 / 学修成果～共通理解からアセスメントの活用

● 講師陣 ●

岸本喜久雄氏 / 東京工業大学 環境・社会理工学院 学院長
日本技術者教育認定機構 副会長
野地 有子氏 / 千葉大学 大学院看護学研究科 教授
田中 一孝氏 / 桜美林大学 リベラルアーツ学群 人文学系 講師
深堀 聰子氏 / 国立教育政策研究所 高等教育研究部 部長

2017 年 1 月 16 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 338 学修アセスメントポリシーの構築と展開

2016年12月22日(木) 10:00~16:50

■高等教育活性化シリーズ 339 学問分野の学修成果についての共通理解形成

2017年1月16日(月) 10:00~16:40

会場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町) 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名(資料代を含む) 下段は高等教育同人(☆)	メディア参加 同(資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 338 学修アセスメントポリシーの構築と展開	40,000円(税込) 同人 20,000円(税込)	41,000円(税、送料込) 同人 21,000円(税、送料込)
高等教育活性化シリーズ 339 学問分野の学修成果についての共通理解形成	41,000円(税込) 同人 20,000円(税込)	42,000円(税、送料込) 同人 21,000円(税、送料込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声CDを送付します。

※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替：00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

☆高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

<input type="checkbox"/> 高等教育活性化シリーズ 338 学修アセスメントポリシーの構築と展開 <input type="checkbox"/> 高等教育活性化シリーズ 339 学問分野の学修成果についての共通理解形成	<p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(□に✓印を入れてください)</p> <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 同人 <input type="checkbox"/> 当日参加 <input type="checkbox"/> メディア参加 <input type="checkbox"/> 当日参加 <input type="checkbox"/> メディア参加 支払方法 <input type="checkbox"/> 当日払い <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 必要書類 <input type="checkbox"/> 請求書 <input type="checkbox"/> 見積書
勤務先 _____	連絡部課・担当者名 _____
〒 _____	メールアドレス _____
所在地 _____	
TEL _____	FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目 (改訂があり次第 HP へ公開)
10:00 } 11:20	<p>□ [工学分野] 工学教育における取組みと今後 ～Tuning テスト問題バンクのインパクトと展望～</p> <p style="text-align: right;">東京工業大学 岸本喜久雄</p> <p>1. OECD-AHELO フィージビリティ・スタディ (1) AHELO の概要 (2) フィージビリティ・スタディ (3) 工学分野におけるチューニング</p> <p>2. 工学分野におけるテスト問題開発 (1) 工学分野のコンピテンス枠組み (2) 概念枠組にもとづく問題の作成 (3) 得られた成果・意義</p> <p>3. テスト問題バンク (1) テスト問題バンクの狙い (2) 機械工学分野における取組み (3) 今後の展望</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:30 } 12:50	<p>□ [看護分野] 看護学教育における取組みと今後 ～看護系学部生の卒業時到達目標の再評価～</p> <p style="text-align: right;">千葉大学 野地 有子</p> <p style="text-align: center;">＜講義項目は後日、小会 HP へ記載＞</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:50 } 15:10	<p>□ [哲学分野] 哲学教育におけるチューニングの取組と今後 ～学生・OB・雇用主インタビューから見る哲学教育の意義～</p> <p style="text-align: right;">桜美林大学 田中 一孝</p> <p>1. 問題背景 (1) 哲学教育の現在 (2) 高等教育機関における哲学教育を取り巻く状況</p> <p>2. 哲学の学修成果とは (1) 国内と海外における先行事例 (2) 学生・OB・雇用主インタビュー</p> <p>3. 哲学の学修成果の測定と課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:20 } 16:40	<p>□ チューニングによる学問分野の学修成果～共通理解形成からアセスメントへ ～Tuning テスト問題バンク／欧州連合 CALOHEE／米国社会科学研究所 MCL～</p> <p style="text-align: right;">国立教育政策研究所 深堀 聡子</p> <p>1. チューニングによる共通理解形成 (1) 相互承認と信頼の構築 (2) 大学としての共通性と多様性・自律性の両立 (3) 学位プロフィールに基づく学位プログラム</p> <p>2. テスト問題開発を通じた抽象論の具体化：エキスパート・ジャッジメントの涵養 (1) Tuning テスト問題バンク (2) 欧州連合 CALOHEE (3) 米国社会科学研究所 MCL</p> <p>3. 大学教育政策への示唆 (1) 三つのポリシー (2) 取組の主体は大学教員 (3) 求められる教育支援スタッフによるコーディネート</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>